

暦の見方

^{えど}江戸時代の暦は今日が何月何日という以外に^{こよみ}二十四節気^{にじゅうしせっき}（春分、夏至など）や日食と月食の予報のほか、その日が吉^{きち}なのか凶^{きょう}なのかを知ることができました。

干支 十干という数を表すようなものと十二支を組み合わせたもので、60種類あり、各日に当てられた。

五行 万物は木火土金水の五つの元素から構成される考え方で、60通りの干支に五行を振り当てた。

方位神 吉凶に関するさまざまな神がどの方角にいるか書いてあり、その方角に応じた吉凶の作用がある。

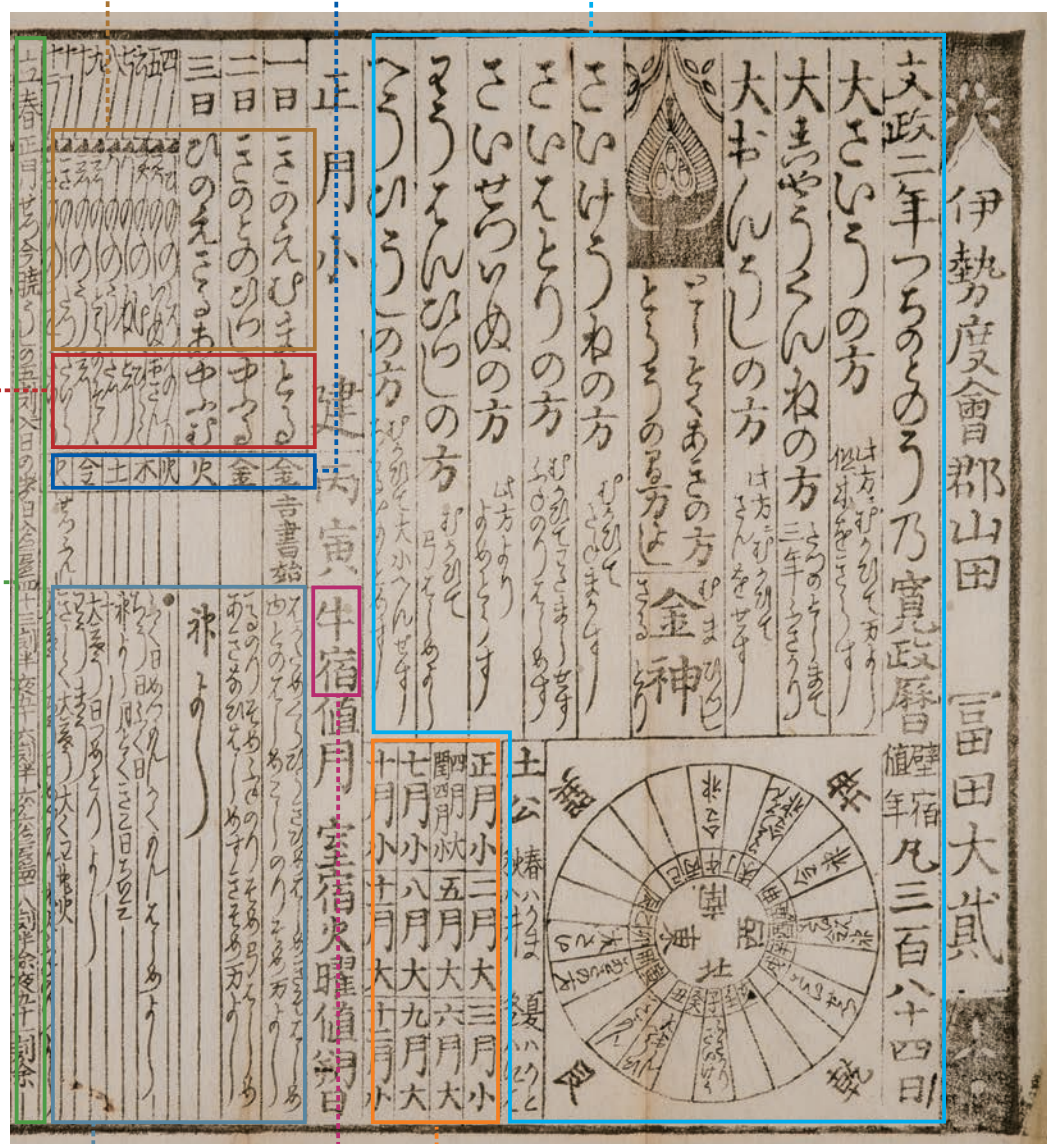
十二直 季節により変わる、北斗七星のひしゃくの向きに十二支を当てはめて、1日の吉凶判断に使われた。

二十四節気 太陰太陽暦は季節とのずれが生じるため、太陽の1年の周期を二十四等分して掲載し、正しい季節を把握した。

下段 その日の運勢など迷信的な内容だが、悪い日を避けるための生活の指針として庶民に支持されていた。

二十八宿 もともとは月の天球上の位置を示すためにつくられたが、吉凶判断の材料に使われるようになった。

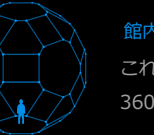
大小月 太陰太陽暦は月の運行（平均29.5日で地球1周）が1ヶ月の長さであり、30日を大の月、29日を小の月とした。



館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介しますデジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.